

普及現地情報

広域的な耕畜連携の拡大について（菊池）

菊池地域は県内最大の畜産地帯であり、以前から熊本や八代地域への堆肥の広域流通に取り組んできました。しかし、畜産農家の規模拡大が進み、今後もさらなる拡大が予測される中で、新たに玉名地域での耕畜連携を始めました。

菊池地域の肥育農家3戸で構成された組織と玉名地域の水稻・じゃがいも生産農家との間で稲わらと堆肥の交換をマッチングし、じゃがいも収穫後の6月に堆肥散布が行われました。

じゃがいも生産農家からは、堆肥散布機を所有していないので、堆肥散布までやってもらえて手間もお金も省けて良い。また、畦を壊されたり、ほ場が踏み固められたりすることもなかったとの感想でした。今後、秋には稲わら収集があるため、お互いスムーズな連携が望まれるため、普及・振興課では、さらなる農家同士の広域連携を支援していきます。



堆肥散布の様子



ほ場マップ

種類：③普及活動（途中経過）

HP掲載可否：可

関連する普及課題名：需要に応じた多様な稲作の推進
及び畜産利用の拡大支援

連絡先

県北広域本部 農業普及・振興課

畜産支援班 堺 久弥